

岡山市長 大森雅夫様

岡山市監査委員	白	神	利	行
同	種	田	和	英
同	三	木	亮	治
同	田	中	慎	弥

随時監査（工事監査）の結果について

地方自治法第199条第5項の規定に基づく随時監査（工事監査）の結果に関する報告について、同条第9項の規定により提出する。

記

1 監査対象工事
別表のとおり

2 監査の期間
平成25年11月8日から平成25年12月27日まで

3 監査の方法等

平成25年度において施工の建設工事のうち、別表の土木工事3件及び建築工事1件を抽出して、工事の計画、設計、積算、契約、施工管理、監理監督等の各段階における技術的事項の実施態様について、関係書類の調査及び工事現場の实地調査により監査した。

なお、実施に当たっては、公益社団法人大阪技術振興協会との工事技術調査業務委託契約に基づき、技術士1人の派遣を求めた。

4 監査の結果

各工事の技術調査を実施した結果は総括的に良好であり、評価できるものであると認められたが、次の事項において、改善、検討を要すると認められた事項については、適切な措置を講じられたい。

なお、技術的に細部にわたる事項、その他軽易な事項については、その都度関係者に改善等を指示したので、記述を省略した。

(1) 北浦漁港海岸護岸改修工事

ア 書類審査について

(ア) 設計においては、鋼矢板の頭部コーピングコンクリートと陸地側の水叩きコンクリートは一体化せず分離が好ましいところであるが、内容変更により結果的には良好なものとなっていた。

今後の同種設計においては考慮することとされたい。

イ 実地調査について

(ア) 一部のコーピング部分について、水叩きコンクリート部と同位置に目地材が設置されていないものが認められた。

今後の施工においては目地材の設置に留意されたい。

(イ) 潮位の関係で設置した大型土のうの撤去跡が未整地の状態で残っていることから、竣工までに整備されたい。

(ウ) 現場に設置された標示看板には建設業退職金共済制度加入に関する標識が貼付されていなかった。

加入を確認し、標示するよう業者を指導されたい。

(エ) 実地調査時の進捗率は90%で計画どおりである。

今後も工期内完工に向けて工程管理に努められたい。

(2) 岡山市適応指導教室トラングルー宮新築工事

ア 書類審査について

(ア) 1階多目的便所の入口幅については、車椅子の出入りに対応した900ミリ以上を以上を確保すること、また、2階階段手すり部の防護壁高さについては、転落防止など安全面に十分配慮し1,100ミリ以上が望ましいと考えられることから、それぞれについて検討されたい。

(イ) 工事写真において、50ミリ以下の円形金物の寸法確認にコンベックスを使用しているもの、コンクリートの躯体幅撮影でコンベックスの端部が見えにくいものがあった。

撮影方法に留意するよう業者に指導されたい。

イ 実地調査について

(ア) 調査当日においては軒樋が未施工であったことから、降雨による雨水が2階梁部まで浸透している状況が認められた。

仮設の軒樋の設置をするなど、当面の降雨対策を検討されたい。

(イ) 外壁の下地合板から打ち込まれた釘が内部の造作材に正確にはいっていないものが一部に見受けられた。

正しく打ち込まれているか再度点検し、不要な釘については撤去しておかれたい。

(ウ) 実地調査時の進捗率は60%で当初計画を少し下回っている。

工期内完工に向けて工程管理を徹底されたい。

(3) 尾上幹線（6工区）汚水管理設工事

ア 書類審査について

(ア) 空伏せ工における鉄筋の仕様が図面に記入されていなかった。

今後は図面に表示するよう留意されたい。

(イ) 施工計画書には、薬液注入工における削孔位置と注入薬液の効果が得られる範囲について、施工の実態に合った記載とするよう業者を指導されたい。

イ 実地調査について

(ア) No.2両発進立坑にかけられていた転落防止網について、鋼矢板締切下部の地盤面に隙間があいている状況が見受けられたため、網を地盤面に付け、固定しておかれたい。

(イ) No.6両発進立坑に設置されていた送風ダクトは1段切梁のところで固定されていた。鋼矢板切断作業の関係による設置とのことであるが、推進工事の開始時点では、立坑内の作業員の安全確保を図るうえでも必要に応じてダクトを更に深部に下げることにについて検討されたい。

(ウ) 実地調査時の進捗率は47%で当初計画から大幅に遅れている。

今後、工期延期の変更を早急に行うとともに、完工に向けて工程管理を徹底されたい。

(4) 岡山市立東山中学校グラウンド拡張に伴う付替道路築造工事

ア 書類審査について

(ア) 施工計画に関係する書類について、出来形管理においては自社規格値の欄が空欄となっているもの、道路幅員の規格値が示されていないものが認められた。

それぞれについて表示するよう業者を指導されたい。

(イ) 擁壁の基礎部の地耐力試験はコーンペネトロメーター試験により実施されていたが、平板載荷試験による確認が望ましく、今後同種の地耐力試験においては方法に留意されたい。

イ 実地調査について

(ア) 仕上がったコンクリート構造物の出来栄も良く、施工管理が良好に行われていると評価できるものであった。

なお、本工事区間が隣接する工事の進入部分と交叉するため、今後とも工事車両、通行車両の安全な誘導に努められたい。

(イ) 終点側の既設道路における立入防止処理は一部が標識ロープ（トラロープ）設置により行われていた。

鋼製バリケード等による立入防護柵を設置することとされたい。

(ウ) 実地調査時の進捗率は30%で当初計画を少し下回っている。

工期内完工に向けて工程管理を徹底されたい。

(別表)

監査対象工事

工種	所管課	工事名・契約金額・工期
土木	南区役所 農林水産振興課	北浦漁港海岸護岸改修工事 39,774,000円 平成24年11月29日～平成25年12月27日
建築	都市整備局 公共建築課	岡山市適応指導教室トラングルー宮新築工事 82,057,500円 平成25年7月9日～平成26年3月31日
土木	下水道局 西部建設課	尾上幹線(6工区)汚水管理設工事 51,061,500円 平成25年3月27日～平成25年12月28日
土木	教育委員会 学校施設課	岡山市立東山中学校グラウンド拡幅に伴う付替道路築造工事 52,111,391円 平成25年7月11日～平成26年3月31日